

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>平成23年 6月 16日</p> <p>大分県知事 殿</p> <p>提出者 〒810-0022 住 所 福岡県福岡市中央区薬院1-14-5 氏 名 西松建設株式会社 九州支社 執行役員支社長 森本 裕朗 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 (092) 771-3124</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	西松建設株式会社 九州支社
事業場の所在地	福岡県福岡市中央区薬院1-14-5
計画期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06 総合工事業
②事業の規模	3,056,847万円(九州支社全体元請完成工事高)
③従業員数	316名(九州支社全体)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組) ・手戻り作業を無くし、廃棄物増加の防止を図った。 ・過剰梱包を極力減らした。 ・鉄筋、型枠類のプレカット化を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組) ・手戻り作業を無くし、廃棄物の増加を防止する。 ・過剰梱包を極力減らす。 ・鉄筋、型枠類のプレカット化をより促進させる。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特定建設資材廃棄物以外の品目も極力分別し、混合廃棄物量の削減を図った。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特定建設資材廃棄物以外の品目の分別を徹底し、混合廃棄物量を大幅に削減する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組) ・ 建設汚泥を自ら利用する環境を整えば、場内で有効利用したい。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
(これまでに実施した取組) ・ 特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
(今後実施する予定の取組) ・ 特になし			

(第4面)

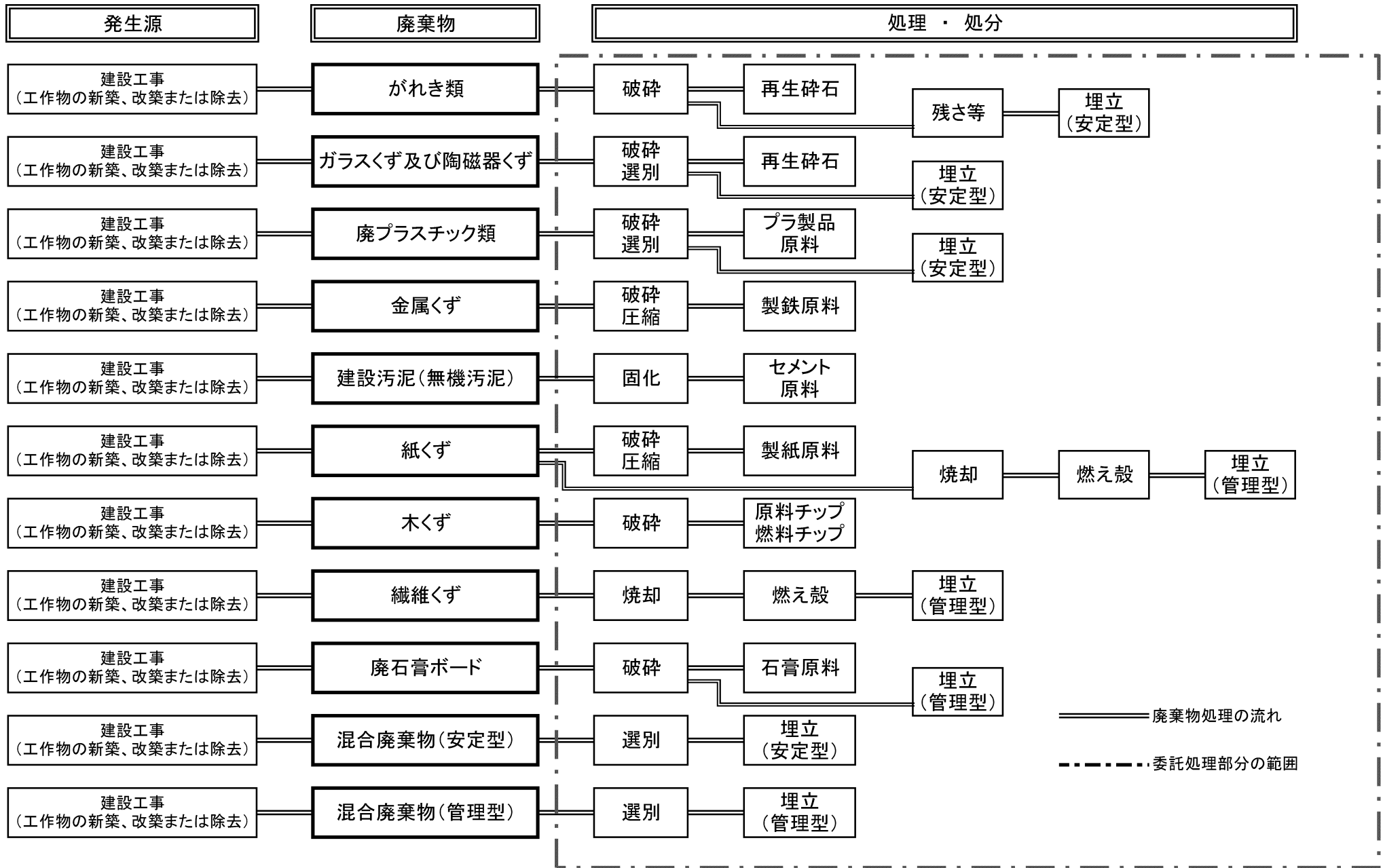
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	別紙のとおり t	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	別紙のとおり t	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	別紙のとおり t	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	別紙のとおり t	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組)		
・特になし			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面別紙) 産業廃棄物の一連の処理の工程



(第2面別紙)

管理体制図

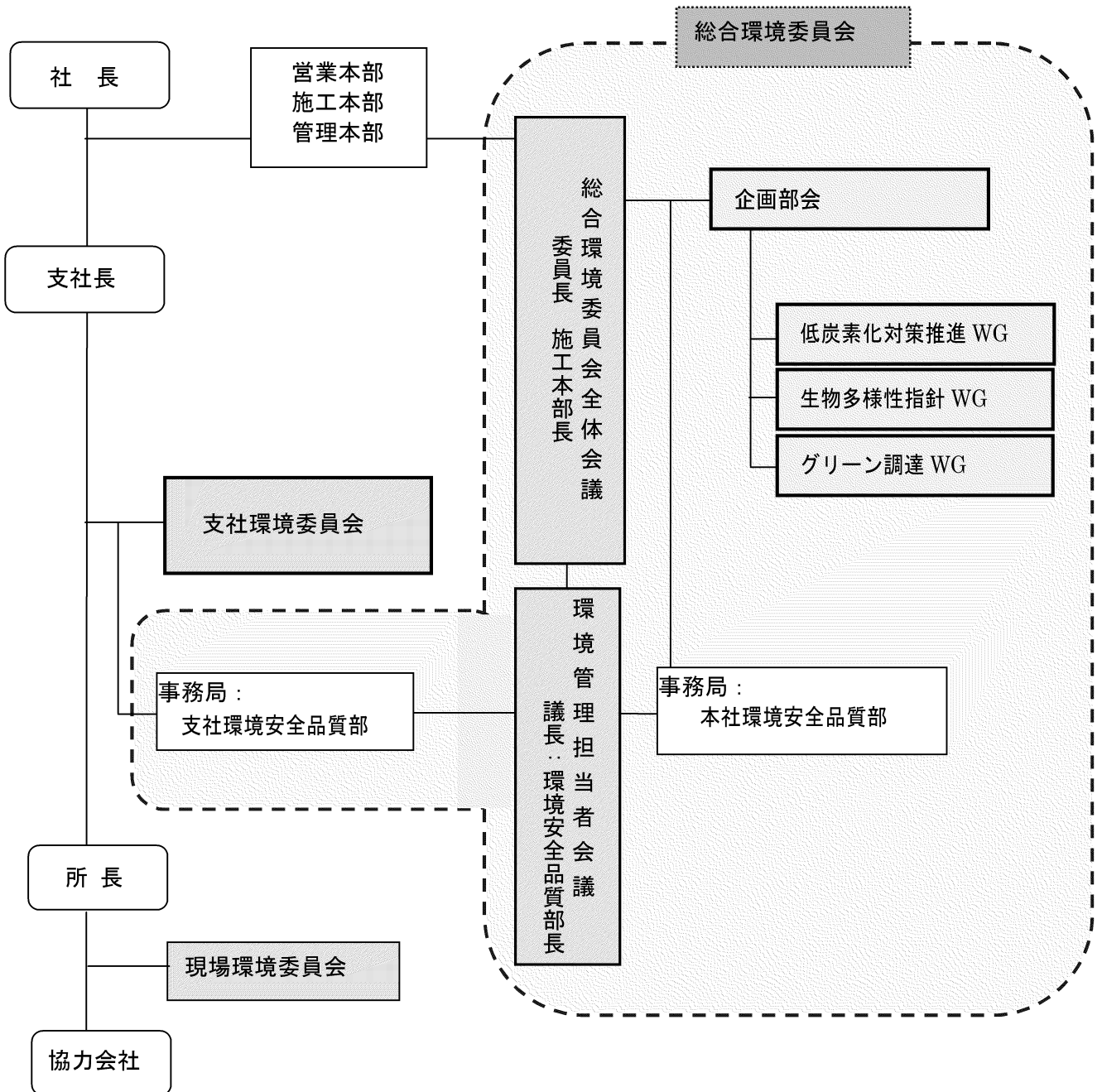
統括責任者		所 属:九州支社 職・氏名:執行役員支社長 ・ 森本裕朗
廃棄物担当		組織名:環境安全品質部 組織人数:3人 環境安全品質課 課長
役割	支社 環境委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、 計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長－支社長 ・副委員長－環境管理責任者 ・委員－関連部署部課長 ・事務局－環境安全品質部
	環境安全品質部長	○廃棄物処理方針の策定 ○支社の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理 担当課長	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結(支社長名) ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・回収管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連企業に対する教育・啓発 ○各作業所に対する情報提供、支援及び指導 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織

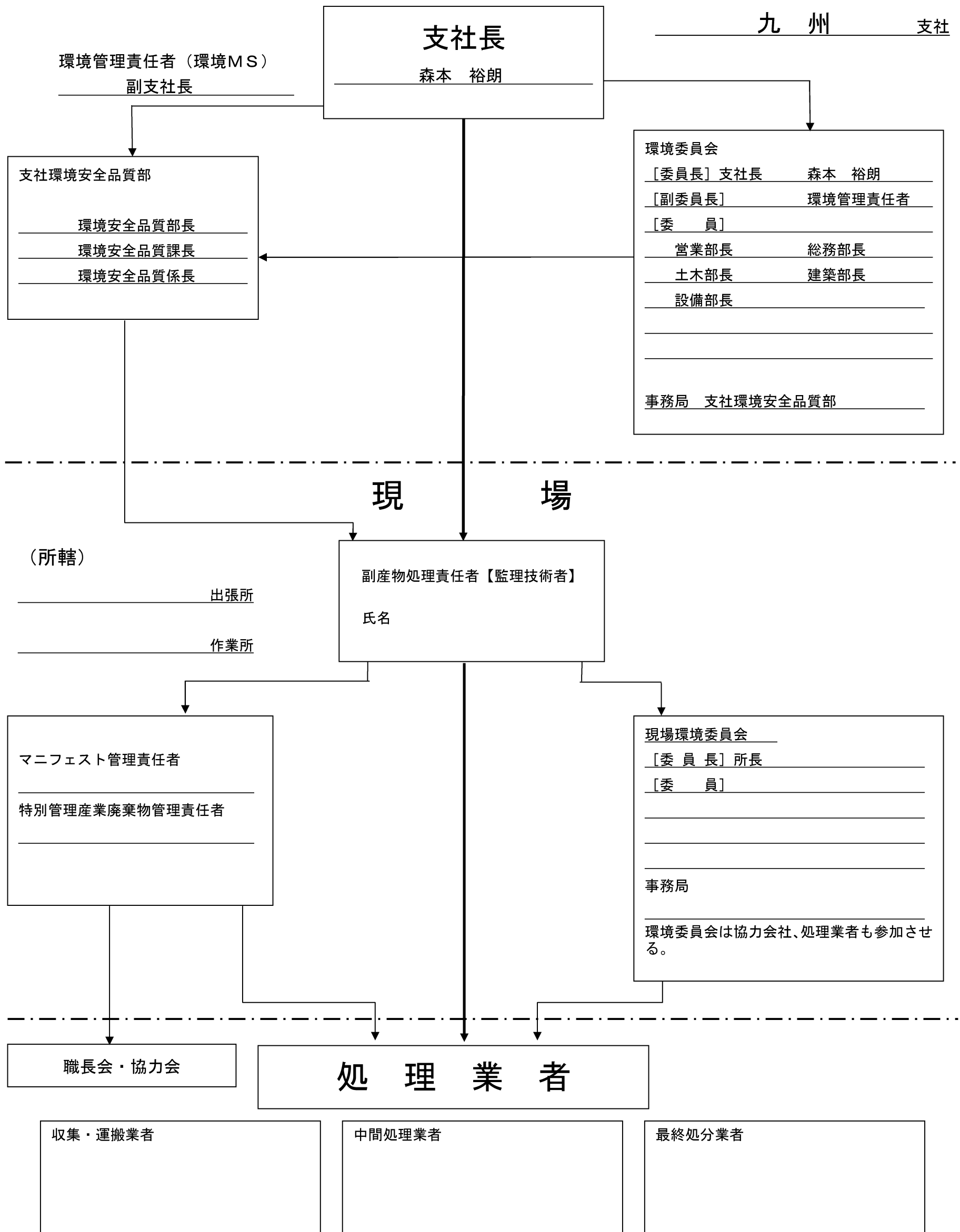
(別紙1)、(別紙2) 参照

社内環境管理体制

(2010年12月9日現在)



支社環境管理体制



様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																
①現状	【前年度(平成22年度)実績】															
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	混合(管理型)		
	排出量	213.100 t	0.000 t	595.000 t	0.000 t	8.100 t	0.000 t	1447.000 t	1.200 t	31.400 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	混合(管理型)		
	排出量	200.000 t	0.000 t	180.000 t	0.000 t	5.000 t	0.000 t	100.000 t	1.000 t	30.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																	
①現状	【前年度(平成22年度)実績】																
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	混合(管理型)			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	1403.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	混合(管理型)			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
①現状	【前年度(平成22年度)実績】																
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	混合(管理型)			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	混合(管理型)			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																	
①現状	【前年度(平成22年度)実績】																
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	混合(管理型)			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	混合(管理型)			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																	
①現状	【前年度(平成22年度)実績】																
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	混合(管理型)			
	全処理委託量	213.100 t	0.000 t	595.000 t	0.000 t	8.100 t	0.000 t	44.000 t	1.200 t	31.400 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	213.100 t	0.000 t	595.000 t	0.000 t	8.100 t	0.000 t	44.000 t	1.200 t	31.400 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	混合(管理型)			
	全処理委託量	200.000 t	0.000 t	180.000 t	0.000 t	5.000 t	0.000 t	100.000 t	1.000 t	30.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	200.000 t	0.000 t	180.000 t	0.000 t	5.000 t	0.000 t	100.000 t	1.000 t	30.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t